

# 平成28年度上半期報告 説明資料

相互会社としての使命	P1	健全性の状況	P9
価値観としての「お客さま基点」	P2	資産運用の状況	P10～11
平成28年度上半期報告のポイント	P3	オンバランスの自己資本強化と継続的なリスクコントロール	P12
保険業績の状況(2社合算)	P4～6	マイナス金利下における収益管理とリスク管理	P13
保険料等収入の状況(2社合算)	P7	(ご参考)主要業績	P14～17
基礎利益の状況(2社合算)	P8		

平成28年11月24日

富国生命保険相互会社

すてきな未来応援します

**フコク生命**

# 相互会社としての使命

## 配当

〔 実質的な保険料負担の軽減 〕

自己資本の強化と配当還元  
の充実をバランスよく実施

お客さまの満足度の向上

## 利益

〔 安定した利益の確保による、  
自己資本の強化と配当還元の充実 〕

## 業績

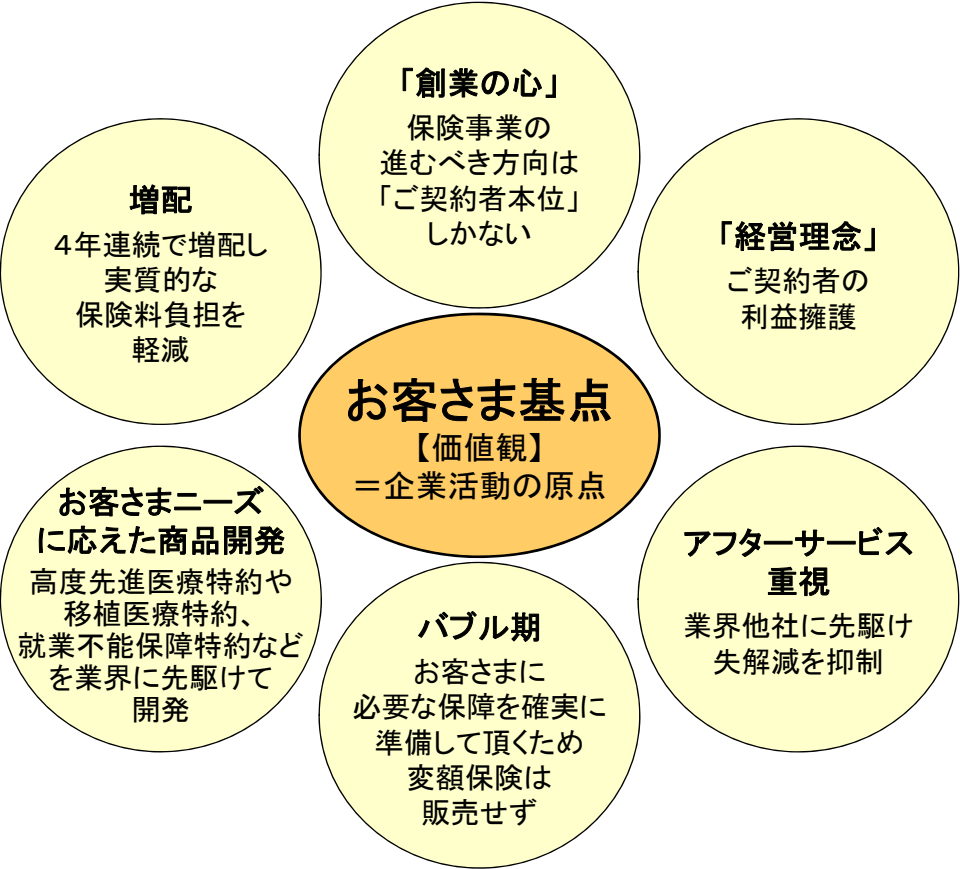
〔 単なるトップラインの競争ではなく、  
保険金額ベースと保険料ベースの業績を重視 〕

リスク管理および資産運用の高度化、  
運用効率の向上

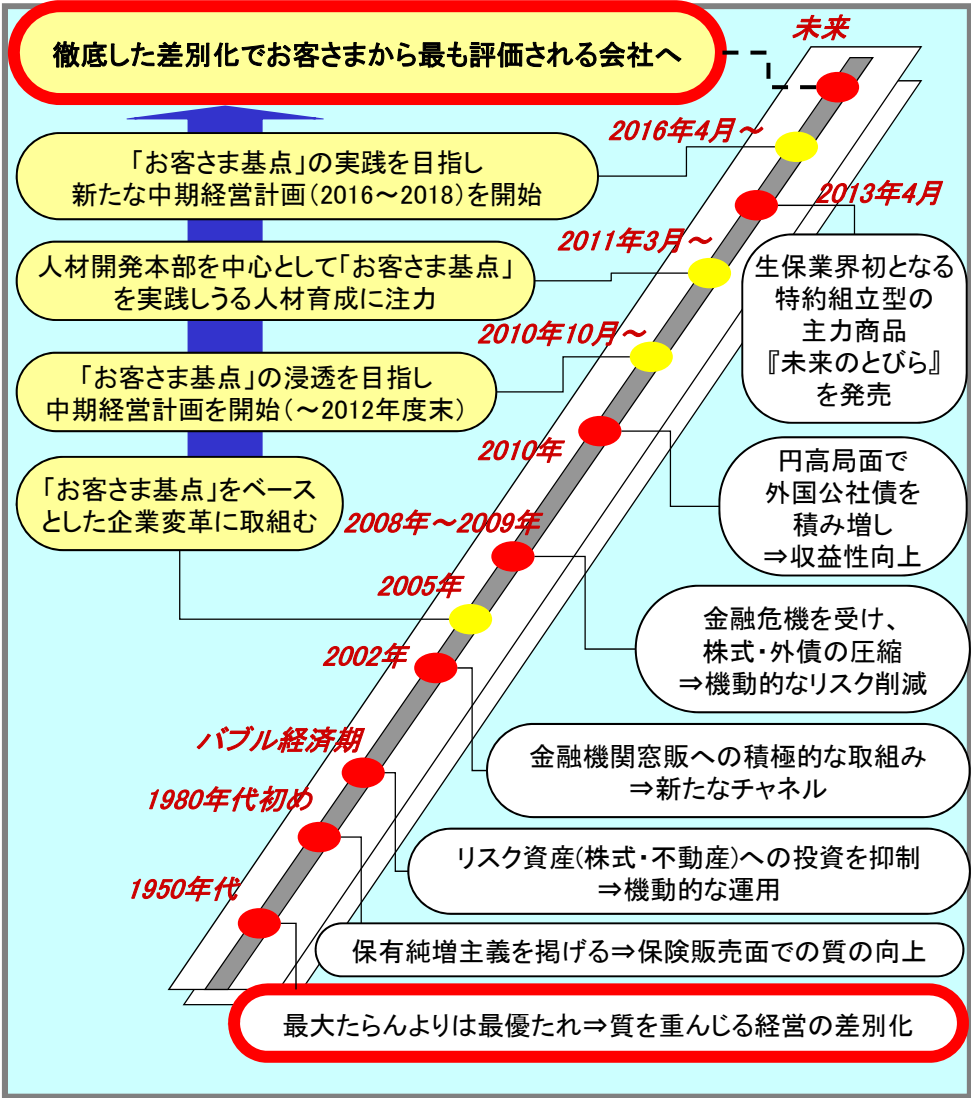
安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考えております。

# 価値観としての「お客さま基点」

## 創業以来続く「お客さま基点」



## 経営の差別化の歴史と「お客さま基点」に向けた取り組み



「お客さま基点」とは、当社の役職員一人ひとりが「もし自分がお客さまだったら」を常に想像しながら、お客さまが心から安心できるであろう、フコク生命ならではのサービスや経験を創り出し、提供していくことです。当社は「お客さま基点」という価値観を、最も大切にしなければならない、あらゆる企業活動の「原点」としてまいります。

## 平成28年度上半期報告のポイント

### 新商品「医療大臣プレミアエイト」販売が好調

- ◆ 平成28年4月から富国生命にて発売した医療保険「医療大臣プレミアエイト」が好調な販売となっており、富国生命単体の医療保険の新契約年換算保険料は前年同期に比べて3割近く伸展し29.6億円

### 保有契約年換算保険料は引き続き増加

- ◆ 2社合算の保有契約年換算保険料は、富国生命・フコクしんらい生命共に増加し、前年度末比0.6%増加の5,788億円
- ◆ うち、第三分野の保有契約年換算保険料は前年度末比0.8%増加の1,101億円

### 解約失効も引き続き改善

- ◆ 2社合算の解約失効は、保険金ベースで前年同期比4.4%減少の6,795億円、保険料ベースで前年同期比6.2%減少の85億円で、改善傾向が続く

### 基礎利益は高い収益性を維持

- ◆ 2社合算の基礎利益は、前年同期比8.9%減少の421億円となったものの、高い収益性を維持
- ◆ 円高により利差は減少したものの、保険関係損益は引き続き堅調に推移

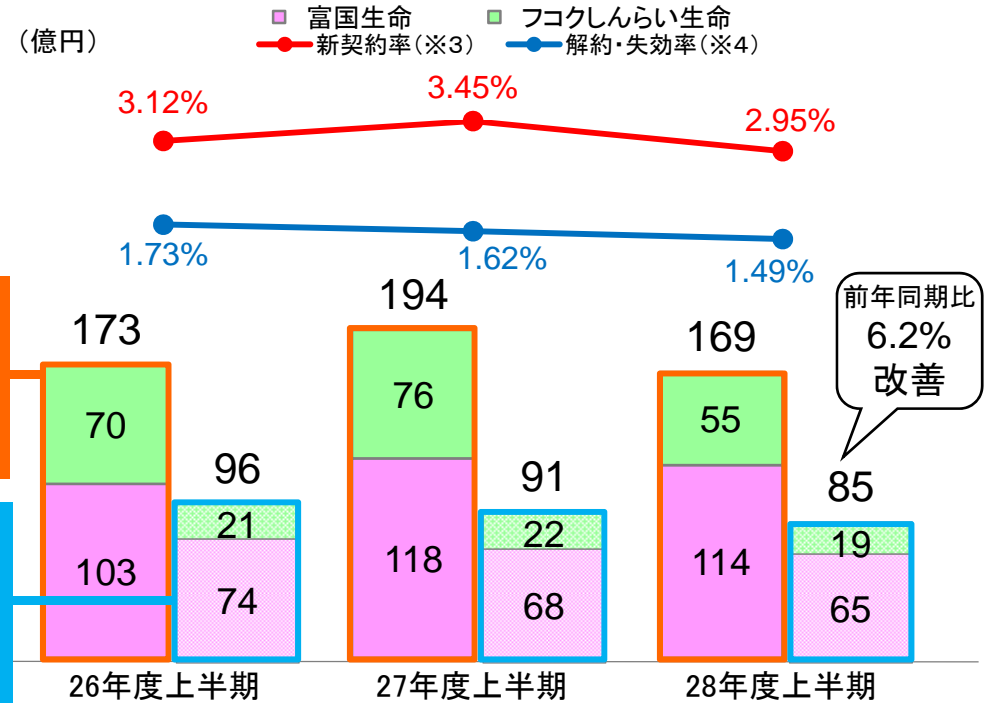
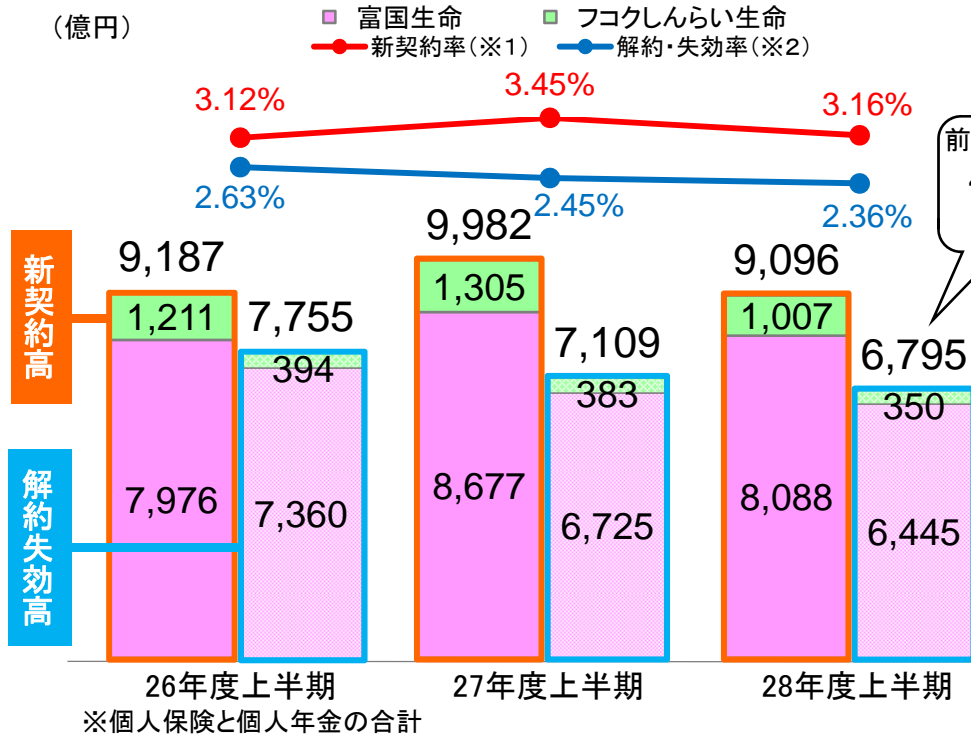
### 引き続き高い健全性を維持

- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比122.6ポイント低下の1,218.9%となったものの、引き続き高い水準を維持

# 保険業績の状況(2社合算) ～新契約・解約失効～

## 新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

## 新契約・解約失効年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 新契約高は富国生命、フコクしんらい生命ともに減少し、前年同期比8.9%減少
- 解約失効高は前年同期比4.4%減少し、前年度に引き続き改善

(※1) 新契約率 = 新契約高 / 年始保有契約高  
(※2) 解約・失効率 = 解約失効高 / 年始保有契約高

- 新契約年換算保険料は富国生命で一時払終身保険を販売休止したこと等により、前年同期比12.9%減少
- 解約失効年換算保険料は前年同期比6.2%減少し、前年度に引き続き改善

(※3) 新契約率 = 新契約年換算保険料 / 年始保有契約年換算保険料  
(※4) 解約・失効率 = 解約失効年換算保険料 / 年始保有契約年換算保険料

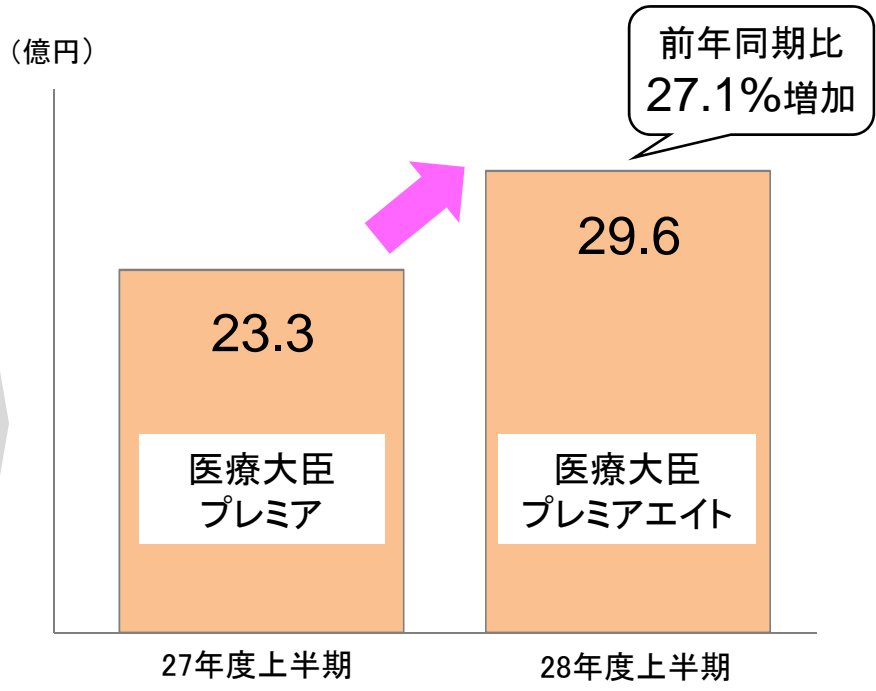
# 保険業績の状況 ～新型医療保険の発売～



平成28年4月より、保障内容を充実させるとともに新たな概念の給付事由も盛り込んだ新型の医療保険「医療大臣プレミアエイト」を発売

- ### 「医療大臣プレミアエイト」の主な特徴
- ✓ 8大生活習慣病※による入院を支払日数無制限で保障【**業界初**】  
(※)がん・心疾患・脳血管疾患・高血圧性疾患・糖尿病・腎疾患・肝疾患・膵疾患
  - ✓ 保険料は従来商品とほぼ同じ水準としつつ、保障を充実
  - ✓ 出産(普通分娩含む)を対象とするなど、女性のニーズに応える保障内容  
 (出産した子の数により給付金が増加【**業界初**】)

## 医療保険の新契約年換算保険料

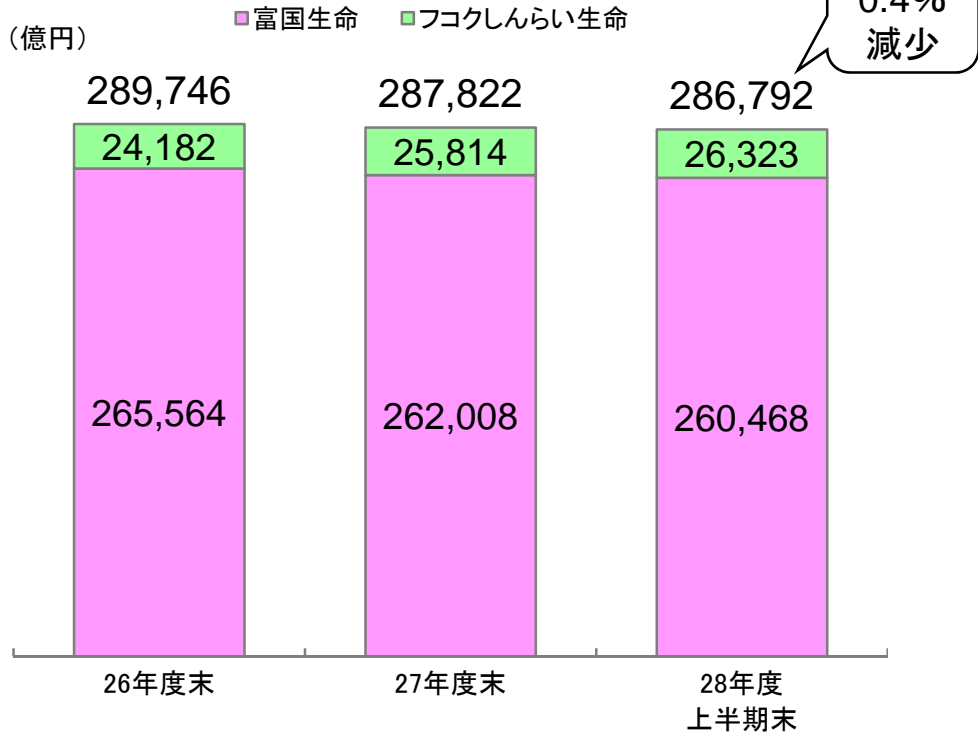


	27年度上半期	28年度上半期
新契約件数	75,448件	88,194件
1件あたりの年換算保険料	30,883円	33,573円

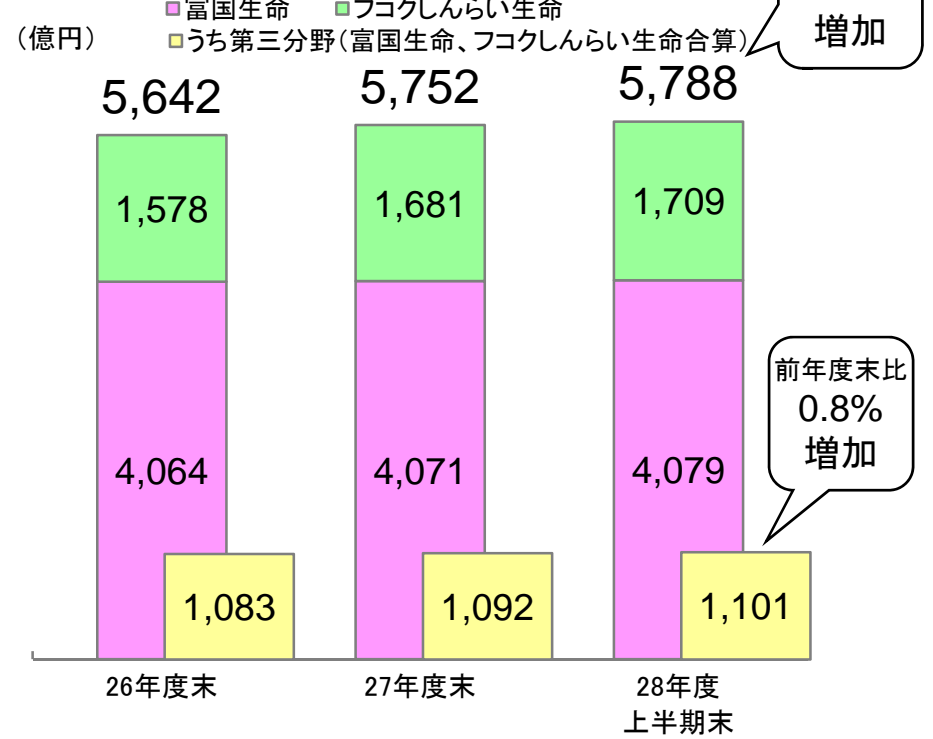
保障内容を充実させた「医療大臣プレミアエイト」の発売により、医療保険の新契約年換算保険料は前年同期に比べて3割近く伸展

# 保険業績の状況(2社合算) ~保有契約~

**保有契約高の推移**  
(富国生命、フコクしんらい生命合算)



**保有契約年換算保険料の推移**  
(富国生命、フコクしんらい生命合算)



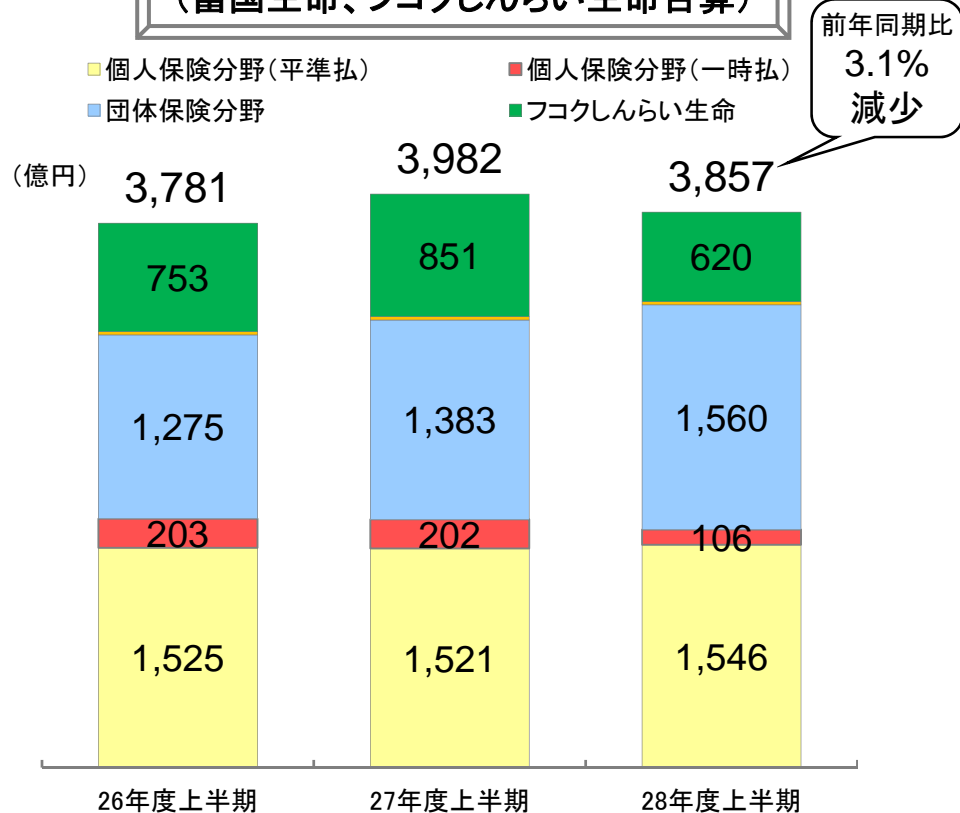
- 保有契約高の減少幅は継続的に縮小傾向
- 解約失効高の改善により、保有契約高の反転増加に向けて着実に進展

- 保有契約年換算保険料は、富国生命、フコクしんらい生命ともに増加しており、前年度末比0.6%増加
- うち、第三分野の保有契約年換算保険料も前年度末比0.8%増加の1,101億円

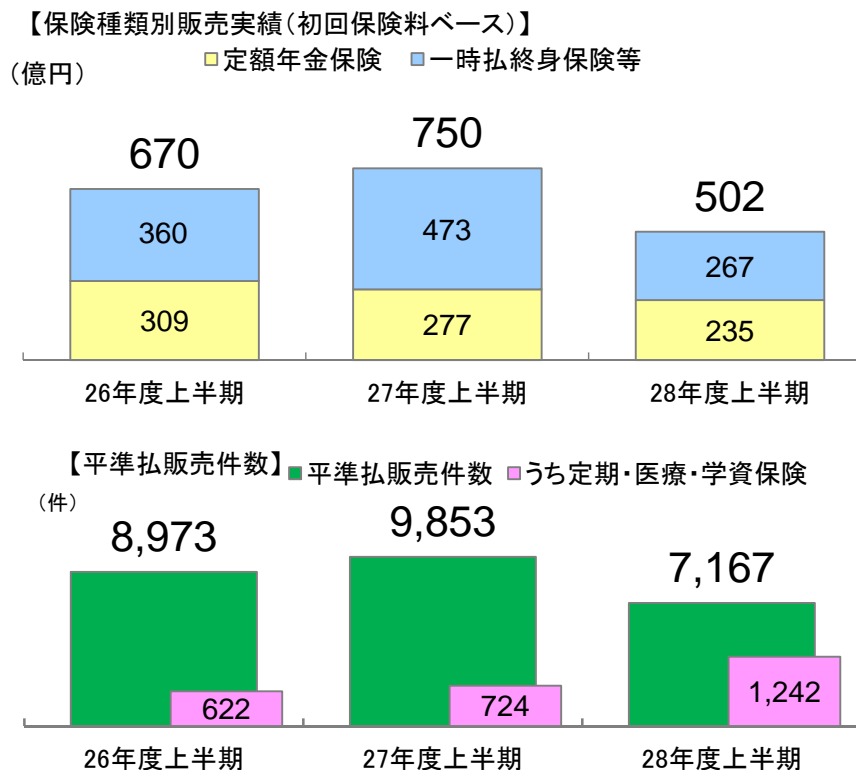


# 保険料等収入の状況(2社合算) ～保険料等収入・金融機関窓販～

**保険料等収入の推移**  
(富国生命、フコクしんらい生命合算)



**金融機関による保険販売の状況**  
(フコクしんらい生命の収入保険料)



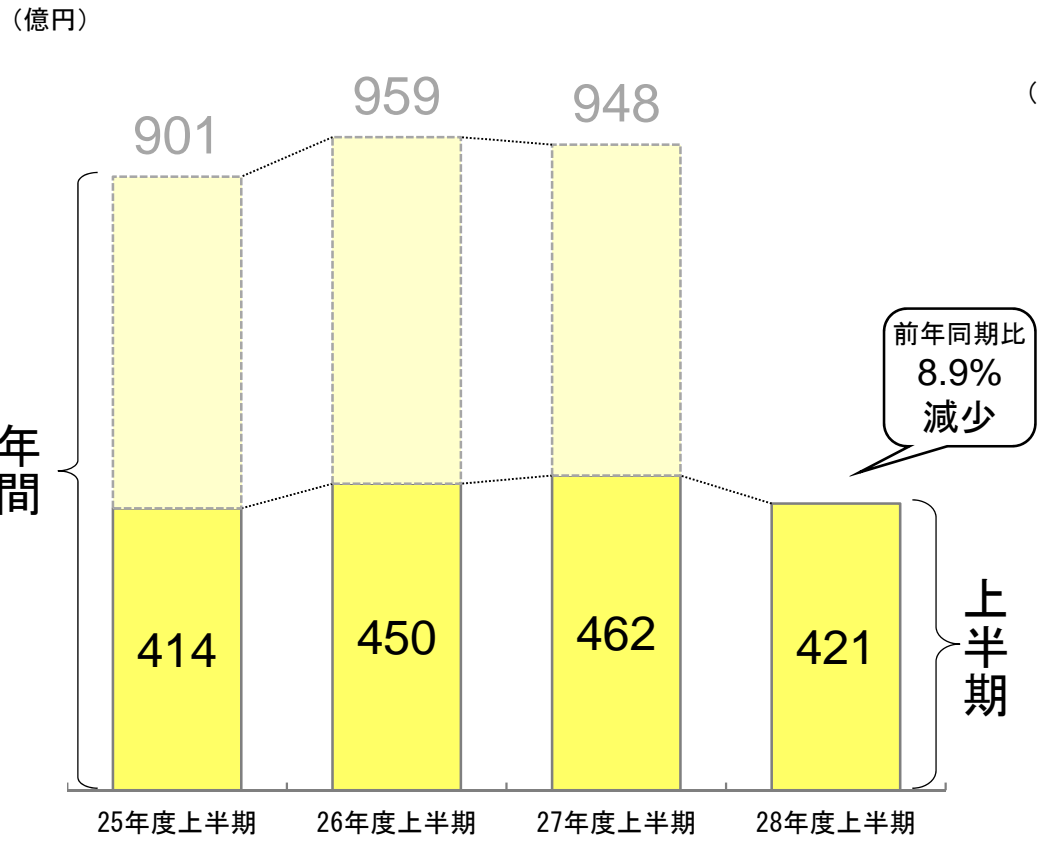
- 保険料等収入は、富国生命では団体保険分野が伸展したことにより増加したものの、フコクしんらい生命が減少したことにより、前年同期比3.1%減少
- 富国生命の個人保険分野の平準払は堅調に推移

- 7月に予定利率を引き下げたことなどにより、一時払商品の販売量は減少(上図)
- 平準払販売件数の減少は一部金融機関での定額年金保険の販売休止による。年金保険以外の件数は伸展しており、今後も引き続き平準払商品の拡販に注力(下図)

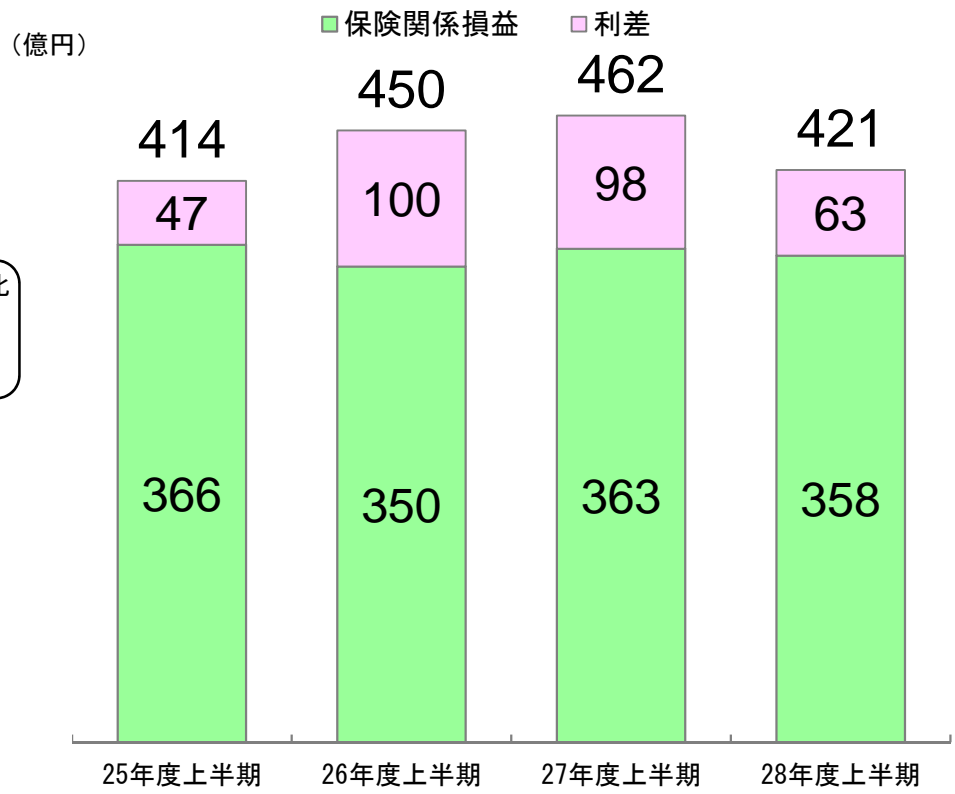


# 基礎利益の状況(2社合算)

## 基礎利益の推移



## 基礎利益の内訳

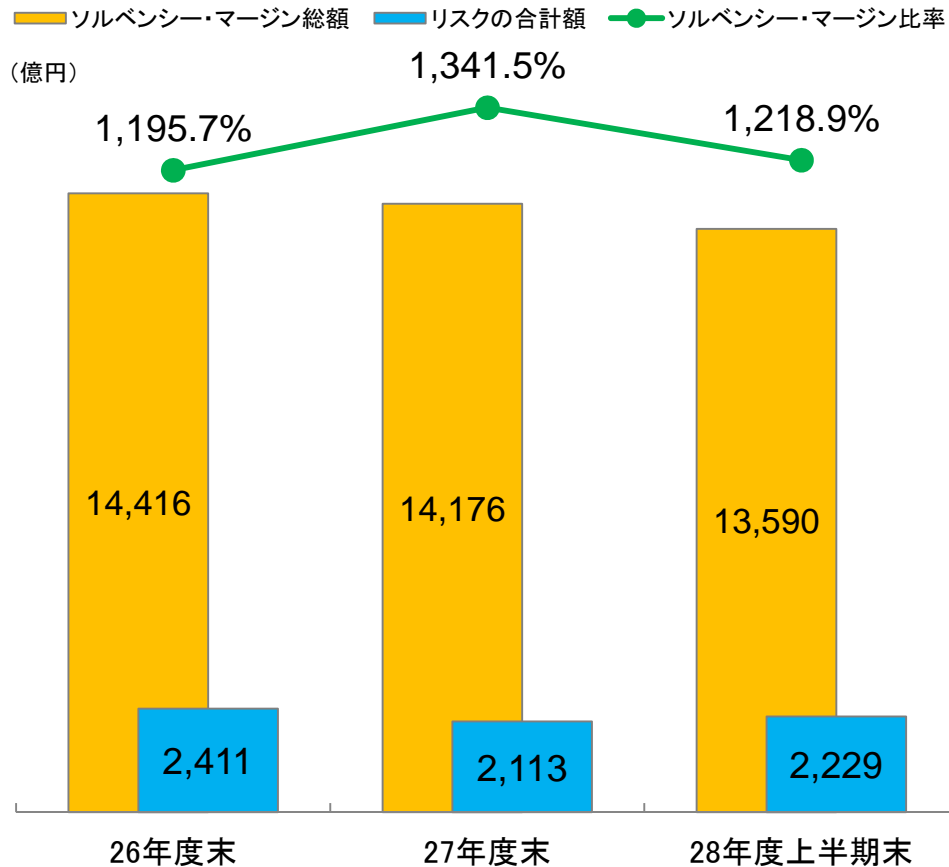


- 基礎利益は前年同期比8.9%減少の421億円となったものの、高い収益性を維持

- 円高等による利回りの低下により利差は減少した一方で、保険関係損益(危険差+費差)は堅調に推移

# 健全性の状況

## ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)



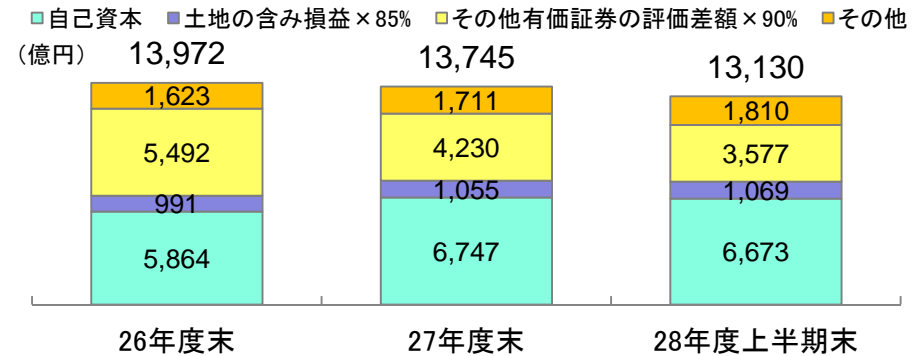
- 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比122.6ポイント低下の1,218.9%となったが、引き続き高水準を維持

## ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

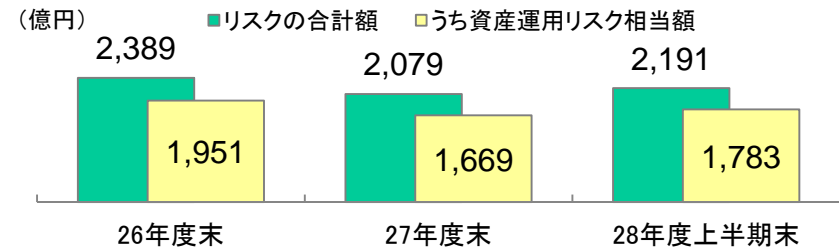
■ソルベンシー・マージン比率

項目	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度上半期末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,169.3%	1,321.8%	1,198.1%

■ソルベンシー・マージン総額(A)



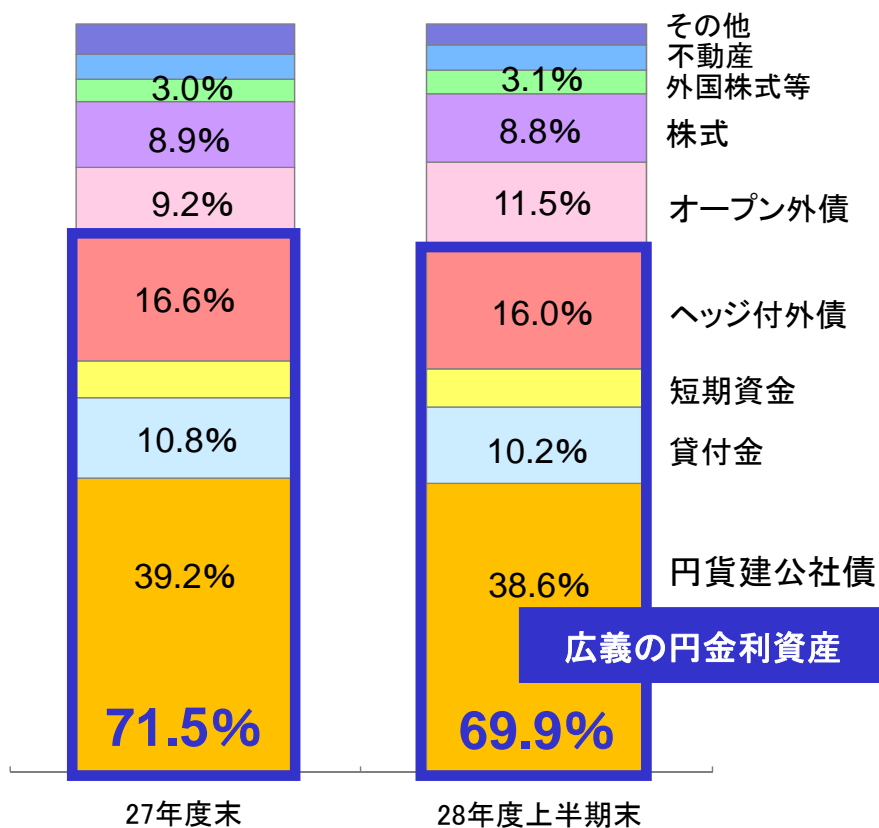
■リスクの合計額(B)



- ソルベンシー・マージン比率は、其他有価証券の評価差額の減少や、ヘッジ比率の低下に伴うリスクの合計額の増加などにより、前年度末比123.7ポイント低下の1,198.1%

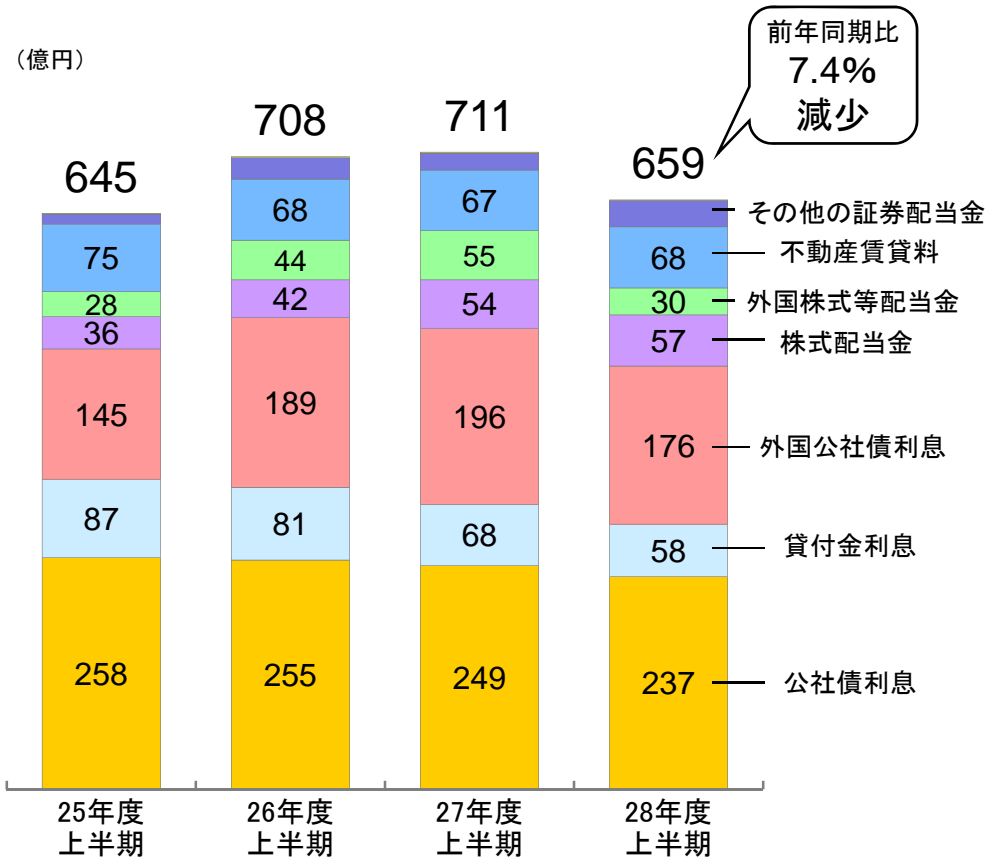
# 資産運用の状況

## 一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



- 広義の円金利資産の構成比は7割程度と、引き続き安全性の高いポートフォリオを構築

## 利息及び配当金等収入※の状況

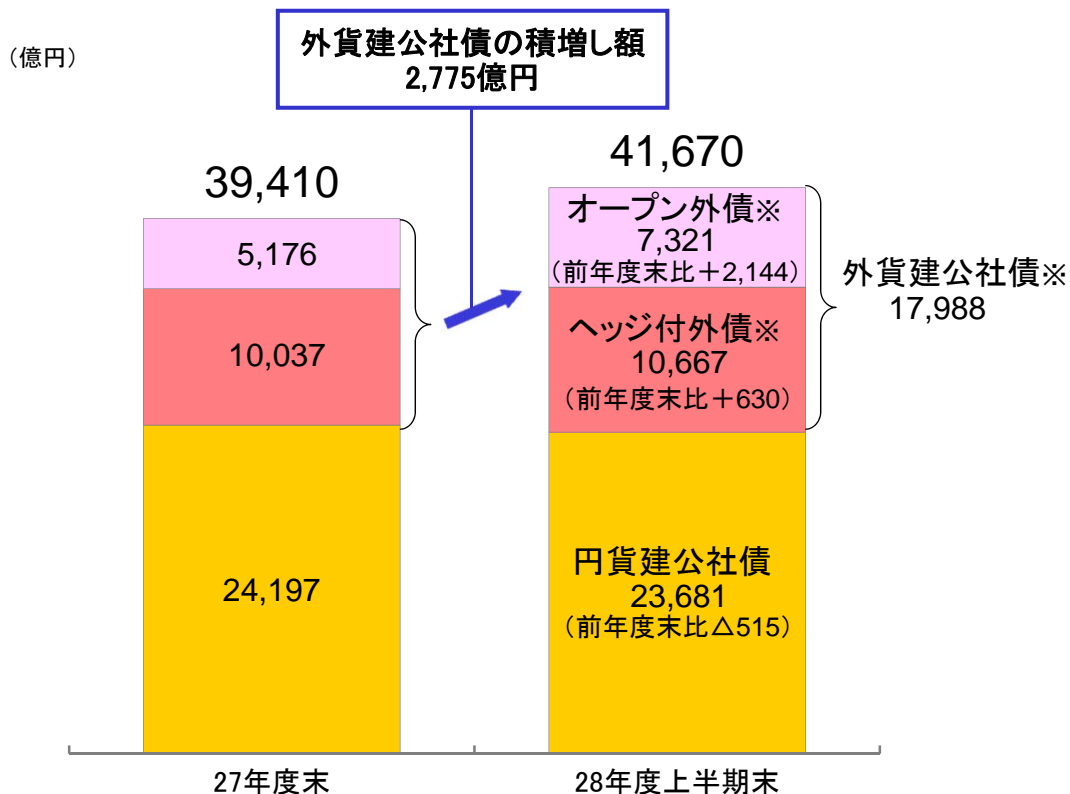


※売買目的有価証券運用益(損)に含まれる利息及び配当金等収入を含む

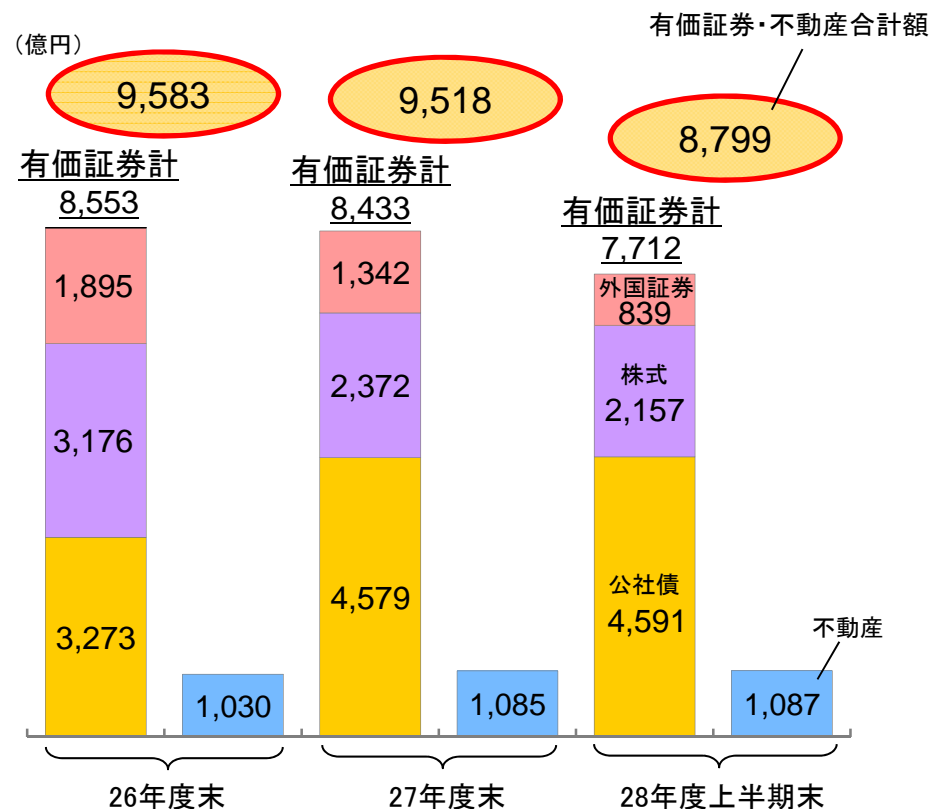
- 利息及び配当金等収入は、外国証券の利息及び配当金が減少し、前年同期を下回る
- 超低金利が継続するなか、高水準を維持

# 資産運用の状況

## 内外公社債(帳簿価額)の内訳



## 含み益の状況

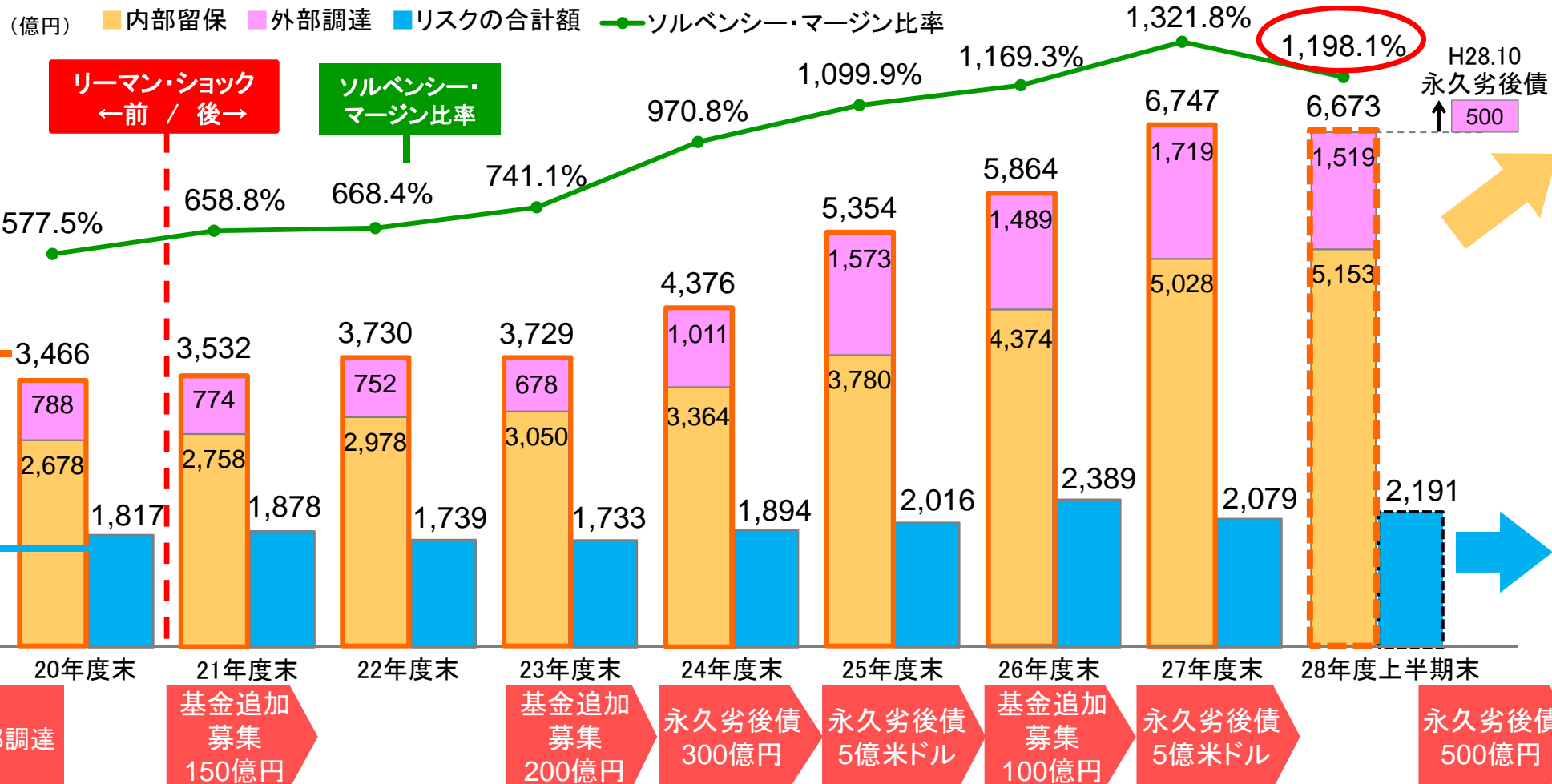


- 収益性が極端に低下している円貨建公社債への投資を控え、外貨建公社債に資金を配分
- 前年度に円高への備えを強化していたことから、夏場以降の円高局面では、割安感の出したドル建債を中心にオープン外債で積増し

- 有価証券の含み益は、円高の進行により外国証券が減少するなど、前年度末比では減少したものの、7,712億円と引き続き高水準を維持

# オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール (富国生命単体)

【ソルベンシー・マージン比率の長期推移および内訳】



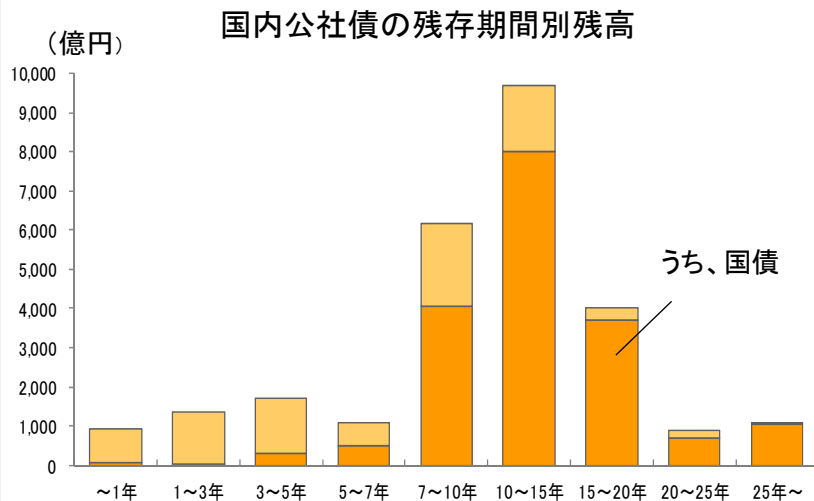
注) 平成22年度以前のソルベンシー・マージン比率等は、現行基準を基に算出した参考数値

- 平成23年度に募集した基金200億円の償却(9月)等により平成28年度上半期末では自己資本は減少したものの、引き続きソルベンシー・マージン比率は1,198.1%と高い水準を維持
- 自己資本の一層の強化を図ることを目的として、10月に永久劣後特約付社債(500億円)を発行
- 統合的リスク管理(ERM)を着実に推進

# マイナス金利下における収益管理とリスク管理

## 資産運用の状況

- 異次元緩和前に長期の債券に投資
- 含み益がゼロとなる金利水準は、1.55%と良好な水準を維持
- 数年以内に償還を迎える公社債が少なく、当面は概ね現状程度の利回りを維持できる見込み



## 改善

- 新商品「医療大臣プレミアエイト」の発売
- 一時払商品の販売休止
- 諸準備金の強化  
追加責任準備金の積立て、  
価格変動準備金および  
危険準備金の積増し
- さらなる運用の高度化  
ESG投資の拡充、  
シンガポール現地法人  
での運用業務の開始

## リスク・テイクの 戦略目標

- 保険引受を収益の主たる源泉とする
- 資産運用は安全かつ有利を原則とする

## 頑強な 財務基盤

## 評価

- 危険差益を安定的に確保
- 当面は、利差益も安定的に確保できるものの中長期的には減少する見通し

## 商品販売及び 資産運用

- 死亡、医療、介護を中心に販売
- エクイティ資産投資の拡大を再開

- ERMを通じてリスクが顕在化する前に対策を講じることにより、頑強な財務基盤を確保
- 市場動向に左右されない収益性と健全性を追求し、引き続き、オンバランスの自己資本強化を図る

# (ご参考) 主要業績①

## 保有契約の状況(富国生命、フコクしんらい生命合算)

### 個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
個人保険	246,204	99.7	244,354	99.7	245,166	99.3
個人年金保険	42,609	99.5	42,437	99.5	42,655	99.6
保有契約高	288,813	99.7	286,792	99.6	287,822	99.3

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期		平成27年度	
	前年同期比		前年同期比		前年度比	
個人保険	8,914	107.2	8,275	92.8	17,749	104.4
個人年金保険	1,068	122.7	820	76.8	2,269	125.2
新契約高	9,982	108.6	9,096	91.1	20,018	106.4
解約失効高	7,109	91.7	6,795	95.6	14,164	93.6
(解約失効率)	(2.45%)	△ 0.18 ポイント	(2.36%)	△ 0.09 ポイント	(4.89%)	△ 0.25 ポイント

### 保有契約年換算保険料

(単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
個人保険	3,111	101.2	3,170	100.8	3,143	102.2
個人年金保険	2,582	100.6	2,618	100.4	2,608	101.6
保有契約年換算保険料合計	5,693	100.9	5,788	100.6	5,752	101.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,087	100.4	1,101	100.8	1,092	100.8

### 新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料

(単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期		平成27年度	
	前年同期比		前年同期比		前年度比	
個人保険	137	116.5	125	91.2	269	107.5
個人年金保険	57	102.7	44	77.2	125	108.3
新契約年換算保険料合計	194	112.1	169	87.1	394	107.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	35	100.5	39	113.0	70	99.9
解約失効	91	94.5	85	93.8	181	—
(解約失効率)	(1.62%)	△ 0.11 ポイント	(1.49%)	△ 0.13 ポイント	(3.22%)	—

### 団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
団体保険	171,918	100.4	175,280	101.1	173,428	101.3
団体年金保険	20,925	98.6	21,519	101.6	21,189	99.8

- ・解約失効率は保険金ベースで前年同期比0.09ポイント改善、保険料ベースで前年同期比0.13ポイント改善
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比0.6%の増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.8%の増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)のうち医療保障・生前給付保障等は前年同期比13.0%の増加



## (ご参考) 主要業績②

### 保有契約の状況(富国生命単体)

#### 個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
個人保険	235,609	99.5	233,016	99.5	234,174	98.9
個人年金保険	28,251	98.4	27,452	98.6	27,833	96.9
保有契約高	263,861	99.4	260,468	99.4	262,008	98.7

新契約高・解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期		平成27年度	
	前年同期比		前年同期比		前年度比	
個人保険	8,145	106.6	7,677	94.2	16,316	104.3
個人年金保険	531	158.8	411	77.4	1,009	139.2
新契約高	8,677	108.8	8,088	93.2	17,325	105.8
解約失効高	6,725	91.4	6,445	95.8	13,417	93.2
(解約失効率)	(2.53%)	△ 0.18 ポイント	(2.46%)	△ 0.07 ポイント	(5.05%)	△ 0.25 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
個人保険	2,741	100.2	2,756	100.3	2,748	100.4
個人年金保険	1,327	100.0	1,322	100.0	1,322	99.7
保有契約年換算保険料合計	4,068	100.1	4,079	100.2	4,071	100.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,070	100.4	1,084	100.9	1,075	100.8

新契約年換算保険料・解約失効年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期		平成27年度	
	前年同期比		前年同期比		前年度比	
個人保険	99	111.3	100	101.3	200	104.2
個人年金保険	18	130.4	13	73.1	34	107.2
新契約年換算保険料合計	118	113.9	114	96.9	234	104.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	34	100.9	39	113.3	70	100.0
解約失効	68	91.0	65	96.3	137	92.2
(解約失効率)	(1.68%)	△ 0.16 ポイント	(1.61%)	△ 0.07 ポイント	(3.39%)	△ 0.27 ポイント

#### 団体保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期末		平成28年度 上半期末		平成27年度末	
	前年度末比		前年度末比		前年度末比	
団体保険	167,487	100.4	171,554	101.1	169,723	101.8
団体年金保険	20,925	98.6	21,519	101.6	21,189	99.8

- ・解約失効率は保険金ベースで前年同期比0.07ポイント改善、保険料ベースで前年同期比0.07ポイント改善
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比0.2%の増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.9%の増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)のうち医療保障・生前給付保障等は前年同期比13.3%の増加

# (ご参考) 主要業績③

## 収支の状況

### 保険関係収支

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期	
		前年同期比		前年同期比
保険料等収入	3,982	105.3	3,857	96.9
うち 個人保険分野	2,569	103.8	2,269	88.3
うち 団体保険分野	1,388	108.4	1,564	112.7

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期	
		前年同期比		前年同期比
保険料等収入	3,131	103.4	3,237	103.4
うち 個人保険分野	1,723	99.7	1,653	95.9
うち 団体保険分野	1,383	108.4	1,560	112.8
保険金等支払金	3,298	130.4	2,639	80.0

(注) 保険料等収入の個人保険分野は個人保険と個人年金保険、団体保険分野は団体保険と団体年金保険の合計額を、それぞれ記載しています。

### 【金融機関による保険販売の状況】(フコクしんらい生命実績)

(単位: 件、億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期	
		前年同期比		前年同期比
新契約件数	27,424	104.7	18,807	68.6
保険料	750	112.0	502	66.9

※平準払契約については初回保険料の単純合計

### 資産運用関係収支

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成27年度 上半期		平成28年度 上半期		
		前年同期比		前年同期比	
一般勘定	資産運用収益	888	98.9	990	111.6
	うち利息及び 配当金等収入	663	99.8	628	94.7
	資産運用費用	204	111.0	426	208.2
	資産運用関係収支	683	95.8	564	82.5
特別勘定資産運用損益	△26	—	△11	43.7	

### 基礎利益

(富国生命単体)

(単位: 億円)

	平成27年度 上半期	平成28年度 上半期
基礎利益 A	450	407
費差 + 危険差	364	357
利差	85	49
キャピタル損益 B	42	△29
臨時損益 C	3	1
経常利益 A+B+C	496	378

(富国生命、フコクしんらい生命合算)

(単位: 億円)

	平成27年度 上半期	平成28年度 上半期
基礎利益	462	421

# (ご参考) 主要業績④

## 資産・健全性の状況

### 資産の構成

(富国生命単体)

(単位: 億円、%)

区 分	平成27年度 上半期末		平成27年度末		平成28年度 上半期末	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率
総 資 産	64,802		64,898		64,379	
うち一般勘定資産	64,011	100.0	64,107	100.0	63,668	100.0
うち公社債	27,124	42.4	26,591	41.5	26,926	42.3
うち株式	5,857	9.2	5,703	8.9	5,614	8.8
うち外国証券	17,730	27.7	17,000	26.5	17,152	26.9
うち貸付金	7,342	11.5	6,936	10.8	6,498	10.2

### 含み損益の状況(一般勘定)

(富国生命単体)

(単位: 億円)

区 分	平成27年度 上半期末	平成27年度末	平成28年度 上半期末
	差損益	差損益	差損益
有 価 証 券 合 計	7,454	8,433	7,712
うち公社債	3,109	4,579	4,591
うち株式	2,559	2,372	2,157
うち外国証券	1,661	1,342	839
不動産(土地・借地権)	1,017	1,085	1,087
合 計	8,472	9,518	8,799

### 健全性を示す指標

(富国生命単体)

(単位: 億円)

項 目	平成27年度 上半期末	平成27年度末	平成28年度 上半期末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	13,667	13,745	13,130
リスクの合計額 (B)	2,233	2,079	2,191
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,224.0%	1,321.8%	1,198.1%

(単位: 億円)

	平成27年度 上半期末	平成27年度末	平成28年度 上半期末
実質純資産額	15,118	16,789	15,883
対一般勘定資産比率	23.6%	26.2%	24.9%

(連結ベース)

(単位: 億円)

項 目	平成27年度 上半期末	平成27年度末	平成28年度 上半期末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	14,125	14,176	13,590
リスクの合計額 (B)	2,258	2,113	2,229
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,250.9%	1,341.5%	1,218.9%

(単位: 億円)

	平成27年度 上半期末	平成27年度末	平成28年度 上半期末
実質純資産額	16,749	19,286	18,450